

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、税・保険料揚げや財政融資資金の回収等が2~4日にかけて行われた。そのため、週全体の資金需給は不足気味となったものの、国債買入オペの実施などもあって当座預金残高は概ね180~185兆円程度と高水準での推移となった。無担保コールO/Nは地銀・信託を中心に0.07%台前半の出会いが中心となっていた。その一方で複数の地銀から試し取りが見られたため、加重平均レートは0.075~0.080%での推移となった。ターム物に関しては、大手行から1W~2W程度での調達が見られた。固定金利方式の共通担保オペは5日に3M・8,000億円がオファーされ、落札額990億円(期落ち額1,350億円)の減額ロールとなった。

今週は、揚げ要因としては短国発行超過要因(9日・10日)、源泉税揚げ(12日)があるものの、機関貸付の実行や後期高齢者医療制度の払いがこれ等を相殺するため、目立った資金過不足日は無いと見られる。国債買入オペの実施を加味すれば、週全体では大幅な資金余剰が予想される。主な経済イベントとしては、9日の10-12月期GDP2次速報等が挙げられる。

2. オープン市場

先週の短国市場は、2月27日に実施された短国買入オペ以降、品薄感が強まったことが影響し、週初から再び3M物がマイナスで推移するなど堅調な地合いとなった。5日には3M物の入札が実施された。落札結果は平均落札利回▲0.0004%、按分落札利回0.0020%と、事前予想よりはやや落ち着いた結果となり、その後のセカンダリー市場では0%近辺での推移となった。6日には6M物の入札が実施された。落札結果は平均落札利回▲0.0059%、按分落札利回▲0.0019%と、6M物は発行額が少ない事もあって3M物より強めの結果となった。

先週のCP市場は、入札ベースで週間償還総額9,500億円程度に対し、発行総額は7,500億円程度にとどまった。電機・石油・機械・鉄鋼業態からは大型発行案件が見られたものの、バランスシートを調整する動きが表れ始めたこと等が影響したものと見られる。発行レートは概ね高値横ばい圏で推移したものの、一部の銘柄では小幅に上昇した。期内償還物や残高が積みあがった銘柄はレートが上昇しやすく、CP現先やオペ金利の高止まりから期越えの銘柄であっても横ばい圏での動きとなった。発行レート水準は、a-1+格で0.085~0.095%、a-1格で0.095~0.105%での取引が多く見られた。6日にはCP等買入オペがオファー額5,000億円で実施され、平均落札利回0.095%、按分落札利回0.093%となった。前回比1,000億円の増額となったことで、金利低下余地はあったものの、幅広い銘柄が対象となっていたためか、按分・落札共に前回比小幅に上昇した。

今週の短国市場は、12日に3M物の入札が予定されており、引き続き0%近辺での堅調な入札が予想される。CP市場は、11日の入札を中心に発行の増加が見込まれる。発行レートは引き続き概ね横ばい圏で推移するものの、期内償還物は上昇する展開が予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,400億円程度の還収超見通し。財政資金は、9日のTB3M発行超過と財政融資資金の貸付、10日のTB6M発行超過、12日の源泉税揚げと社会保障費の払いなどがあり、合計で6,500億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で5,100億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<9日>TB3M;償還44,100億円・発行57,000億円 <10日>TB6M;償還29,900億円・発行35,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円<12日>流動性供給;発行3,000億円<13日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オベ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
3/9(月)	1,400	△ 8,500	△ 7,100	全店共通(固) CP買入	△ 1,400 △ 300	1,000	△ 700	△ 7,800
3/10(火)	1,000	△ 3,000	△ 2,000	国債買入		10,300	10,300	8,300
3/11(水)	0	2,000	2,000	CP買入		5,000	5,000	7,000
3/12(木)	0	△ 1,000	△ 1,000				0	△ 1,000
3/13(金)	△ 1,000	4,000	3,000				0	3,000
週間合計	1,400	△ 6,500	△ 5,100		△ 1,700	16,300	14,600	9,500

(注) 上表の3/9は日銀予想、3/10以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/9(月)	10-12月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 1月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 2月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00) 愛媛県金融経済懇談会にて中曽副総裁講演		2月のFRB 労働市場情勢指数
3/10(火)	2月のマネーストック(日銀 8:50)	流動性供給 3,000億円 3/12発行	1月の米卸売売上高
3/11(水)	1月の機械受注統計(内閣府 8:50) 2月の企業物価指数(日銀 8:50) 1月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)		2月の米財政収支
3/12(木)	1-3月期の法人企業景気予測調査季報(内閣府・財務省共管 8:50) 1月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50) 1月の第3次産業活動指数(経済産業省 8:50) 2月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TB3M発行 57,000億円 3/16発行	2月の米小売売上高 1月の米企業在庫
3/13(金)	1月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)		2月の米生産者物価指数 3月のミシガン大消費者信頼感指数速報

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入